

## 平成24年度 事業報告

### サッカー事業

#### 1、地域スポーツ振興に関する事業（普及）

##### 1) 地域選手強化活動協力事業

県および地区サッカー協会と連携して、各種強化育成事業（優秀選手育成事業）に指導者を派遣した。

- ・指導者：モンテディオ山形育成普及コーチ
- ・回数：26回

##### 2) 「ふれあいフィールド」幼稚園、保育園および小中学校の授業支援事業

①幼稚園、保育園及び小中学校へ指導者を派遣し、保育時間や授業の中でサッカーを中心としたスポーツ指導を実施した。

- ・指導者：育成普及コーチ
- ・回数：110回
- ・参加者：6, 186名

②山形県教育委員会の後援を受け小学校の総合的な学習授業にゲストティーチャーとしてモンテディオ山形選手を派遣、夢について語り合う「夢クラス」を実施した。

- ・派遣者：選手29名
- ・回数：16回
- ・参加者：1, 014人

##### 3) 地域活動派遣事業

地域行政・団体等が主催する公益的キャンペーン、講演会・セミナーなどへの参加、協賛を通し事業の成功、並びに地域スポーツの振興に貢献した。

- ・派遣者：理事長、モンテディオ山形監督、コーチ、選手、スタッフ等
- ・回数：241回

##### 4) 地域サッカー教室指導者派遣事業

各地域でのサッカー教室開催やイベントへ指導者を派遣した。

参加者総数：2,584名（普及1,874名）

①ホームゲーム開催日にサッカー教室を実施した。

- ・指導者：モンテディオ山形育成普及コーチ、選手
- ・回数：8回

②各地域行事におけるスポーツ教室の支援を行った。

- ・指導者：モンテディオ山形育成普及コーチ、選手
- ・回数：17回

#### 2、ジュニアスポーツの振興に関する事業

##### 1) ユースチームの活動（高校生）

①活動拠点：山形市、天童市

1. 山形銀行研修センターグラウンド
2. 第一貨物教育センター体育館
3. 山形県総合運動公園第二運動広場

②指導者：監督1名コーチ3名

③選手数：32名

④練習回数：週6回

⑤大会実績

- ・第18回東北クラブユース選手権大会 第2位
- ・第36回日本クラブユース選手権大会（U-18） 予選リーグ敗退
- ・JFAプリンスリーグU-18東北1部 第3位
  - ※2013年は東北1部リーグ残留
- ・2012Jユースカップ 予選リーグ敗退
- ・第16回山形県総合サッカー選手大会 ベスト8

## 2) ジュニアユースチームの運営（中学生）

<ジュニアユース村山>

①活動拠点：山形市、天童市

1. 山形銀行研修センターグラウンド
2. 第一貨物教育センター体育館
3. 山形県総合運動公園第二運動広場

②指導者：監督1名コーチ2名

③選手数：55名

④練習回数：週4回～5回

⑤大会実績

- ・第23回山形県べにばな杯ジュニアユース大会 優勝
- ・第27回日本クラブユースサッカー選手権大会山形県予選 優勝
  - ・同 東北大会 ベスト8
- ・第24回高円宮杯ユースサッカー選手権大会 東北大会 BブロックV8
- ・2012みちのくリーグ（南東北ブロック） 第4位

<ジュニアユース庄内>

①活動拠点：鶴岡市、酒田市

1. TDKグラウンド
2. ルネサス山形スポーツアリーナ
3. 板垣鉄工アリーナ
4. 羽黒高校室内練習場
5. かんぼの郷酒田スワンドーム

②指導者：監督1名コーチ3名

③選手数：49名

④練習回数：週5回～6回

⑤大会実績

- ・第23回山形県べにばな杯ジュニアユース大会 準優勝
- ・第27回日本クラブユースサッカー選手権大会山形県予選 準優勝
  - ・同 東北大会 ベスト8
- ・第24回高円宮杯ユースサッカー選手権大会東北大会 ブロック準決勝敗退
- ・2012みちのくリーグ（南東北ブロック） 第6位

### 3) サッカースクールの設置

#### <モンテディオ山形サッカースクール村山>

- ①対 象：キッズ(幼児年長)・小学1～6年生 235名
- ②活 動 日：5月～3月 各クラス年間40回 週1回  
キッズ(年長児)～小学4年生 火曜日・金曜日  
小学5,6年生 水曜日・木曜日
- ③活動場所：1.山形銀行研修センターグラウンド 2.第一貨物教育センター体育館  
3.山形県総合運動公園第二運動広場

#### <モンテディオ山形サッカースクール置賜>

- ①対 象：キッズ(年長児)～小学3年生 44名
- ②活 動 日：5月～3月 年間42回(土曜日または日曜日)
- ③活動場所：1.NECパーソナルプロダクツグラウンド  
2.サクサ(株)米沢事業場体育館

#### <モンテディオ山形サッカースクール庄内>

- ①対 象：鶴岡コース(小学1～5年生) 45名  
酒田コース(小学1～5年生) 58名
- ②活 動 日：4月～12月 各コース年間33回  
※鶴岡コースは木曜日、酒田コースは水曜日
- ③活動場所：1.飯森山公園多目的グラウンド 2.国体記念体育館 3.かんぼの郷スワンドーム 4.ルネサス山形スポーツアリーナ 5.小真木原総合運動公園東多目的広場

#### <モンテディオ山形サッカースクール最上>

- ①対 象：キッズ(年長児)～小学2年生 9名
- ②活 動 日：5月～12月 年間30回(木曜日)
- ③活動場所：1.新庄市体育館 2.福田運動広場 3.山形航空電子体育館

### 3、県民のスポーツ意識向上に資する事業

#### 1) 「J2リーグ」公式試合

開催期間：3月4日～11月11日に渡り、NDソフトスタジアム山形(天童市：べにばなスポーツパーク)において実施した。成績は16勝13分13敗の第10位の成績で、J2残留。

#### 2) その他の公式試合への参加

第92回天皇杯全日本サッカー選手権大会へ出場し、3回戦にて敗退した。

2回戦 モンテディオ山形 対 トナン前橋(群馬県代表)「3-0」

3回戦 モンテディオ山形 対 セレッソ大阪 「1-2」

### 4、青少年の健全育成に資する事業

#### 1) J2公式試合への県内小中高生の無料観戦

対象試合：J2リーグホームゲーム21試合

試合会場：NDソフトスタジアム山形(天童市)

入場者数：約13,900名(平均662名)

## 5、その他目的を達成するための必要な事業

### 1) スポーツを通じた福祉推進

①福祉施設入居者や障害者に、公式試合への無料招待を行うとともに、児童福祉施設等への訪問など福祉事業との連携・協力を図った。

対象試合：J2リーグホームゲーム21試合（3/17～11/11）

試合会場：NDソフトスタジアム山形（天童市）

入場者数：490名（平均23名）

②東日本大震災により山形県内に避難している被災者に、公式試合への無料招待を行った。

対象試合：J2リーグホームゲーム1試合（10/28）

試合会場：NDソフトスタジアム山形（天童市）

入場者数：115名

## 女子駅伝その他スポーツ振興事業

### 1、女子駅伝事業

#### 1) 実施合宿

全国都道府県対抗女子駅伝競走大会や、国民体育大会等全国大会等全国大会で活躍できる選手の確保・育成するために、各種大会へ選手の派遣や強化合宿を実施した。

年間強化合宿：17回（県内－10回・県外－7回）

#### 2) 主な大会出場

①第31回全国都道府県対抗女子駅伝競走大会

田中幸選手4区（4km）（区間28位）山形県チーム第21位

②第12回アジアクロスカントリー大会（中国・清鎮）

田中幸選手（8位）

③第55回札幌国際ハーフマラソン

田中幸選手（6位）

④第28回東日本女子駅伝 田中幸選手は9区（10km）出場（区間10位）

山形県チーム失格

⑤第31回山陽ロードレース大会 田中幸選手（15位）

#### 3) 普及・指導活動

下記のとおり派遣及び普及指導を行った

第8小（山形市）南沼原小（山形市）楯山小（山形市）南山形小（山形市）浜中小（酒田市）平野小（長井市）天童市ジュニアアスリートクラブ（天童市）南部小（天童市）干布小（天童市）尾花沢小（尾花沢市）南陽市さわやかマラソン（南陽市）山辺小、やまのべ星ふるロードマラソン大会（山辺町）母親研修会（金山町）、寿大学（金山町）、舟形町スポーツ少年団陸上教室、鮭川村スポーツ少年団陸上教室、小国町スポーツ少年団栄養講座、いいでスポーツクラブかけっこ教室（飯豊町）庄内町ひまわりマラソン（庄内町）山形TFC（通年）山形城北高校（通年）、APLS生涯スポーツ振興会、あかねヶ丘陸上競技場スポーツ振興事業、YAMAGATA ドリームキッズ推進事業での指導

## 2、その他のスポーツ振興事業

### 1) 介護予防事業

Jリーグの「百年構想」の具現化の一環として、ホームタウン自治体を中心に関係方面の支援を得て、地域で生活するシニア世代の方々の生涯を通じた心身の健康に寄与することを目的とし、介護予防事業を実施した。

モンテディオ山形シニアフィットネス

セントラルコース 参加者：45名 10月～11月 計9回

出張コース 参加者：200名（山形市、米沢市、東根市） 計5回

### 2) スポーツプラザ21の運営

県民の多様なスポーツとの関わりの促進と地域の活性化を目的として、スポーツプラザ21（山形市七日町）の運営管理を行った。

### 3) キャラクター活用事業

村山地域の観光施設等や県内外イベントにおいて、モンテディオ山形のマスコットキャラクターを活用したPR活動を行い、モンテディオ山形ホームゲームへの観戦促進及び観光誘客活動の促進による地域経済の活性化を図った。